

報 ずずらんの里

2014年 3月号 No. 156

発行者

〒869-5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームずずらんの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

無病息災を願う 豆まき

2月3日(月)の午後から毎年恒例になっている「豆まき」を入所者とデイサービスの利用者合同で行いました。

1階食堂ホールでは輪になって豆を手には、鬼が出てくるのを今か今かと待っていました。

鬼が降参とばかりに倒れこむと、「今年もみんなが健康で過ごせますように」と願いを込め全員で万歳しました。

介護職員 上田有希



鬼が登場すると、皆さん歓声をあげつつも真剣な表情で一斉に豆を投げつけておられました。



皆さんの勢いで圧倒される鬼!

避難訓練

備えあれば

災いなし

2月13日(木)に消防訓練がありました。今回の訓練では実際に避難の誘導は行わず、火災が起こった際にどのような対応を取るかの確認を行いました。

その後、主に新人職員



体験した職員は「包まれていることで安心感があつた」「肩からかけるので身体への負担があまりみからな」と感じがありました。



に向けて施設内の消火器具などの場所や使い方も、また、東側駐車場に設置してある防災倉庫に備えられている用具は実際災害が起こったときには使えるようになっていきます。その中からベルトを肩からかけて体全体で担ぐ担架を説明の後実際に体験しました。



これは前輪が上がることで砂利道など不安定な場所も楽に進むことができます。通常のように後ろから前輪を上げる方法より車椅子の傾きが少なくなります。



他にも車椅子に装着して人力車のように移動することができるとの器具の説明もありました。



ありがとうございました

2/9(日)
郡築青年団様より
新鮮野菜をいただきました。

このように色々な器具があることを知り、もし災害が起こったときには活用できるようにしたいと思いました。



栄養満点

昔を懐かしみながら

～ふれあいおやつ ぼた餅作り～

2月5日にご利用者のところにお邪魔し、お餅とさつま芋を使ってぼた餅を作りました。調理室であらかじめ蒸しておいたお餅とさつま芋をボールに入れて、皆さんの前で麺棒でつぶしました。きな粉をまぶし始めると「きな粉のよか香りがするなあ」との声が上がり、「昔はよく作りよったもんね」と会話も弾み、食べるのを待ち遠しくされていました。出来上がり、提供しますと「懐かしなあ」「黒砂糖やあんこを入れても美味しかごたね」との声が上がり、おかわりをされる方もおられ大変喜ばれました。

ぼた餅を「ねったんぼ」と呼ぶ方もおられ、ご利用者にとっては昔懐かしいおやつだったようです。次回はリクエストのありました「あんこ入りぼたもち」を作りたいと思います。

これからも、皆さんが昔を懐かしんでいただいて笑顔になれるおやつ作りをしていきたいと思ひます。



「おいしい」と松本節子さん

管理栄養士 江上まどか 宮崎 美鈴

～3月の誕生者～

祝



- 赤星 ツギエ様 (T4.3.6 99歳)
- 作元 エミ子様 (T10.3.18 93歳)
- 重松 マチエ様 (T14.3.15 89歳)
- 福嶋 サツ子様 (T15.3.2 89歳)
- 清水 マス子様 (S9.3.13 80歳)
- 吉本 トシ子様 (S10.3.25 79歳)
- 村上 一喜様 (S13.3.19 76歳)
- 高野 弘子様 (S16.3.7 73歳)

「この人に聞く？」

橋口ユキ子さん(87)にひな祭りでの思い出を聞きました。

橋口さんは女の娘さんが多く、ひな祭りに団子をよく作っていたそうです。



団子作りが得意で、あんこは、あずきを炊いた後つぶして作っておられました。団子はメリケン粉を使うと、あっさりした団子が出来るとのことです。生地を混ぜる際は、水の量に気をつけて、少しずつ混ぜながら入れて行くのがポイントと教えてくださいました。

白玉粉を入れるとやわらかくなり、出来あがった時にふっくらした団子ができます。とても美味しかったと橋口さんは笑顔で話されました。

広報紙における写真や記事は個人情報保護法に基づき本人およびご家族の承諾のうえ掲載しています。